

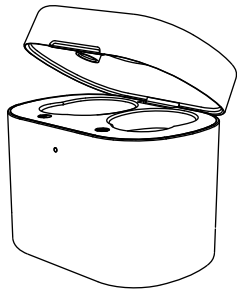


クイックスタートガイド

内容物



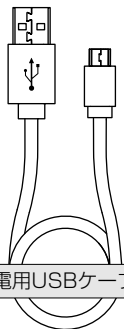
イヤホン本体



充電ケース



イヤピース (S/M/L)



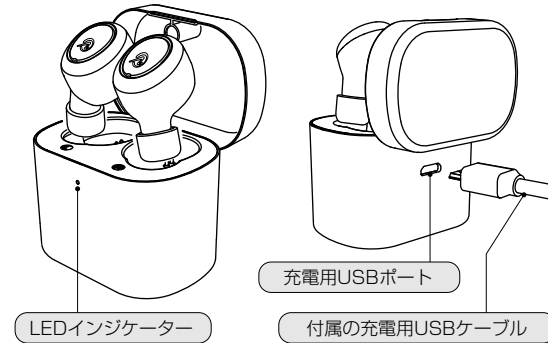
充電用USBケーブル



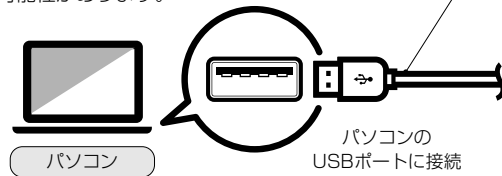
クイックスタートガイド (本書)
リファレンスガイド

最初に (本体を充電する)

イヤホンを充電ケースに戻し、充電ケースの充電ポートとパソコンのUSBポートを充電用USBケーブルで接続します。青色のLEDが点滅状態から点灯状態になると充電完了となります。電池残量は、充電ケースに充電用USBケーブルを接続した時と充電ケースよりイヤホンを着脱した時にLEDインジケータに表示されます。



※ 充電用USBケーブルを接続する際は、上下の向きに注意して強く押し込みすぎないようにしてください。充電用USBポートの破損の原因になる可能性があります。



※ 本製品は電池残量が0% (充電ケースの青LEDが高速点滅状態) になった場合、その状態より復帰するのに0.7Aの電流が必要となります。ただし、一部PCでは、そのPCが所有しているUSBポートの供給電流が0.5Aの物が存在しております。そのようなUSBポートを使用した場合、電池残量が0%から復帰できませんので、その場合はAC/USBの変換アダプター (別売) をご使用ください。急速充電器はご使用にならないください。商品破損、火災の原因になる可能性があります。

LED インジケータの確認方法

電池残量	LED の表示
0 ~ 25%	青色の LED が 1 回点滅
25 ~ 50%	青色の LED が 2 回点滅
50 ~ 75%	青色の LED が 3 回点滅
75 ~ 100%	青色の LED が 4 回点滅
充電完了	青色 LED が点灯

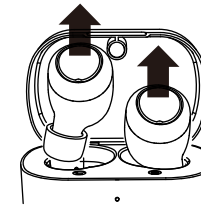
※ 電池残量が0~25%の時、充電ケースが低電圧モードとなり、直ぐに機能停止状態になってしまいますので速やかに充電してください。
 ※ 必ず付属の充電用USBケーブルで充電してください。
 ※ 本製品を長期間使用しなかった場合、内蔵されている電池の性能が低下してしまう場合があります。本製品を長期間使用されない場合は、月に1回を目安に充電を行ってください。

本体を接続する (初回ペアリング)

MS-TW2シリーズには初回自動ペアリング機能がついています。

<ペアリングモード起動>

左右のイヤホンを充電ケースから取り出します。
 ※モノラルモード (Rのみの使用) の場合でも、同様の手順でイヤホンを接続してください。



自動的に左右のイヤホンが接続され再生機器との登録モードに入ります。

※右側イヤホンのLEDが青色・白色と交互に高速点滅します。
 (Connected Left Channel/Right Channel⇒ビープ音とアナウンスが流れます。)

<再生機器との接続操作>

再生機器のBluetooth設定画面を開きBluetoothをONにし、新しく検索されたデバイスの中で"MS-TW2-R"を選択します。



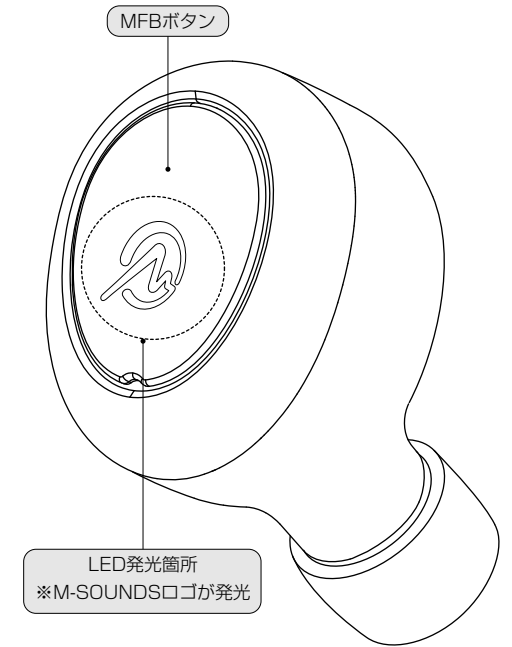
※ デバイス名"MS-TW2-R"が検索されない場合は、Bluetoothの電源を1度OFFにし、再度ONにしてください。それでもデバイス名が検索されない場合は手動接続をお試しください。

■手動接続方法

- ①右側 (R) イヤホンのみ取り出します。
- ②MFBボタンを4秒間長押しをし、白色のLEDが点灯したら指を放します。(電源OFF)
- ③再度イヤホンのMFBボタンを約4秒間長押しをし、青色・白色のLEDが高速で点滅しはじめたら指を放します。
- ④再生機器のBluetooth設定画面を開きBluetoothをONにし、新しく検索されたデバイスの中で"MS-TW2-R"を選択します。
- ⑤左側(L) のイヤホンを取り出しますと自動的に左右のイヤホンが接続されます。

<接続完了>

LEDが青色・白色の点滅から青色のみの点滅に変わると、接続完了し左右のイヤホンがご使用いただける状態になります。
 (Second device connectedとアナウンスが流れます)



<モノラルモードの起動方法について>

右側 (R) のイヤホンのみ充電ケースから取り出します。Connectedとアナウンスが流れましたら接続完了です。※本製品のモノラルモードは親機である右側 (R) のみとなります。

通話について



本製品は、ステレオ通話に対応している為、両耳で使用している時は電話の声がステレオで聞こえます。片耳で電話の声を聞きたい場合は、モノラルモードでご使用下さい。なお、モノラルモードは右側のみでの使用となります。

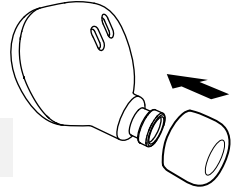
※2.4GHz帯の電波が多く使用されている環境下でご使用になると電波干渉により、通話ノイズが発生する可能性があります。

本体を装着する

初回ペアリングが済みましたら、下記のイラストのようにイヤホン
を両耳に装着し、しっかり耳に固定されているかご確認ください。
※イヤホンは左右別々の形状をしていますので、イヤホンに表記さ
れている表示を確認の上、装着してください。
もし、イヤピースが大きい（小さい）ようでしたら、付属の別サ
イズのイヤピースと交換ください。本製品はケーブルレスタイプ
のイヤホンですので、固定が甘いと使用中に製品が落下し紛失・
破損につながる恐れがあります。

<イヤピースの取付方法>

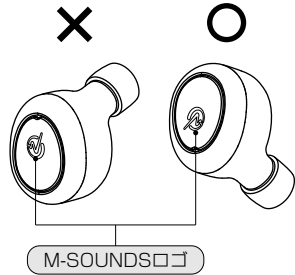
図のように取り付けます。
(左右の取り付け方は同じです。)



※イヤピースが小さすぎると密着面積の問題で
低音が感じにくくなる場合があります。

<装着方法>

イヤホン本体の裏面にあるL/R
の表記を確認し、装着するイヤ
ホン本体の上下の向きを確認し
ます。



※イヤホン本体の上下の向きは、右図を
参考にしてください。本体に対してイヤ
ピースが斜め下を向くように装着し
ます。(M-SOUNDSロゴが上下逆さにな
らないように注意)

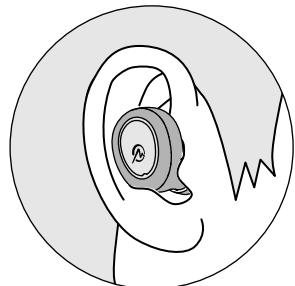
イヤホンのイヤピースを耳の
穴に差し込みます。



イヤホンを持ち、前後にねじり
ながら耳奥に差し込みます。



適度に耳の形にポジションを整
えたら装着完了です。
(左右の取り付け方は同じで
す。)



登録済み再生機器と接続する

再生機器のBluetooth設定画面を開きBluetoothをONにしてくだ
さい。その際、画面上に"MS-TW2-R"が登録されている事を確認
してください。



充電ケースよりイヤホン（両耳）を取り出し、装着してください。
Connected Left Channel/Right Channel⇒Second device
connectedとアナウンスが流れましたら接続完了です。

※音楽が片側しか流れない場合は接続がうまくできていません。その場合は、
一旦充電ケースにイヤホンを入れ、再度取り出してください。

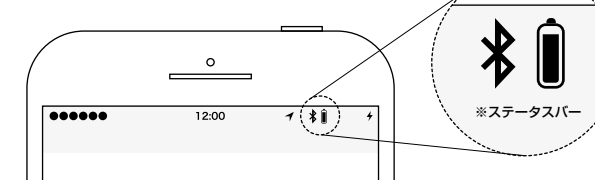
充電ケースの電池残量の見方

■ 充電ケース
充電ケースよりイヤホンを持ち上げた時に表示されます。

電池残量	LED の表示
0%	青 LED が高速点滅
1 ~ 25%	青 LED が 1 回点滅
25 ~ 50%	青 LED が 2 回点滅
50 ~ 75%	青 LED が 3 回点滅
75 ~ 100%	青 LED が 4 回点滅

●電池残量が0~25%の時、充電ケースが低電圧モードとなり、直ぐに機能停止
状態になってしまいますので速やかに充電してください。また、低電圧モードに
なった場合イヤホンの電源を切断できなくなるため、イヤホンが充電ケースの中
にある状態でも再生機器と接続してしまいます。その場合は再生機器の
Bluetooth設定を切ってください。
●必ず付属の充電用USBケーブルで充電してください。
●本製品を長期間使用しなかった場合、内蔵されている電池の性能が低下してし
まう場合があります。本製品を長期間使用されない場合は、月に1回を目安に充電
を行ってください。

■ イヤホン
ステータスバーの表示で確認ください。



※一部のスマートフォン、タブレットのみ表示されます。

MFB ボタンの操作方法

イヤホンのMFBボタンで様々な操作が可能です。

■ステレオモードでの使用時

・音楽再生 / 通話時の操作

	L	R
音楽再生時	再生	1 回押す
	停止	1 回押す
	曲送り	—
	曲戻し	2 回連続クリック
通話時	電話を受ける	1 回押す
	電話を切る	1 回押す
	着信拒否	長押し

・音量の操作

	L	R
音量を上げる	—	長押し
音量を下げる	長押し	—

※長押しをそのまま続けると、連続して音量が変化します。

・Siri/ 音声コントロールの操作

	L	R
起動	2 回連続クリック	2 回連続クリック
終了	2 回連続クリック	2 回連続クリック

※Siriが起動しない場合は、スマートフォンの設定画面でSiriがオンになっている
か確認してください。Siriの起動は、停止時のみです。

■モノラルモードでの使用時

モノラル時はRのイヤホンのみ使用します。Lのイヤホンは充電ケ
ースに収納してください。

・音楽再生 / 通話時の操作

	L	R
音楽再生時	再生	—
	停止	—
通話時	電話を受ける	—
	電話を切る	—
	着信拒否	—

・Siri/ 音声コントロールの操作

	L	R
起動	—	2 回連続クリック
終了	—	2 回連続クリック

お手入れの方法

MS-TW2は、JIS防水保護等級IPX4相当の防汗仕様です。突然の
雨や汗、水しぶきからイヤホンを守り、運動中でも快適にご使用
いただけます。本体に付いている水滴や汗などは、ご使用後に乾
いたやわらかい布などで拭き取ってください。

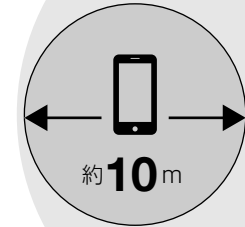
※充電ケースは防汗仕様対応ではございません。

※水中やお風呂での使用及び水洗いはできません。

通信圏について

通信圏内

通信圏内においても障害物などの影
響で、通信が遮断される場合があり
ます。その場合は本体機器を置いて
いる場所を変更してください。



通信圏外

“ピピッ”というピープ音が
流れて再生が一時停止状態にな
ります。通信圏内に戻ると
“Connected”とアナウンス
が流れますので、再生ボタンを
押してください。

2.4GHz 電波対策

本製品は2.4GHz帯の電波を利用しております。
電波の特性上、下記環境や、使用方法では通信が途切れたりする
事がありますが、商品不良ではありません、ご容赦ください。
また、満員電車など2.4GHz帯の使用密度が高く障害物が多い空
間でも同様の通信途切れが発生する可能性があります。



信号機など交通信号システ
ムが多く設置されている場
所での使用

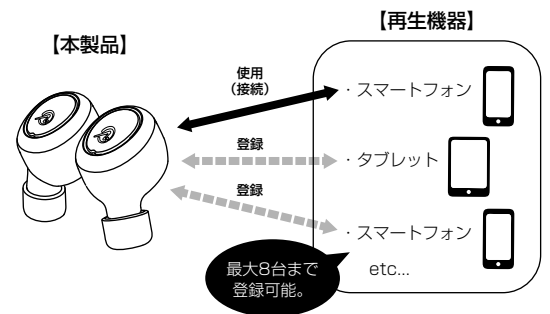


Wifiアンテナが多く設置さ
れている場所での使用



スマホ等の本体機器が人体
に接触している状態での使
用（通信電波が弱くなる）

複数の機器を登録する



本製品は最大8台の再生機器を登録する事ができ、そのうち1台が使用
(接続)できます。

※複数の再生機器がある環境下では、新しく登録した物から優先的に接続されま
す。
※8台以上再生機器を登録した場合、古い再生機器の登録情報から順に自動的
に削除されていきます。